

第 5 期東久留米市市民環境会議 第 8 回会議録

会 議 名	第 5 期東久留米市市民環境会議第 9 回会議
日 時	平成 29 年 7 月 26 日（水） 18 時 00 分～20 時 15 分
会 場	東久留米市役所 7 階 702 会議室
出 席 者	出席委員数 12 名 欠席委員数 3 名
出席職員	環境政策課長 計画調整係長 緑と公園係長 計画調整係主事
議 題 I. 報告事項 1. 第 7 回東久留米市市民環境会議会議録の確認（資料 1） 2. 環境政策課からの報告 3. 環境フェスティバル実行委員会報告（資料 2） 4. 各部会報告、広報担当者会議報告（資料 5） II. 議題 1. 広報関係 ロゴについて（資料 6） 2. 会議体の充実に向けて ・サポーター制度について（資料 7） ・会議体の今後の姿 3. 第 5 期活動報告書について ・提言書について（資料 8） ・報告書について（資料 9）	
配布資料 【資料 1】 第 5 期第 8 回東久留米市市民環境会議会議録（案） 【資料 2】 第 2 1 回環境フェスティバル来場者アンケートまとめ 【資料 5】 広報担当者会議報告 【資料 6】 ロゴマーク資料 【資料 7】 東久留米市市民環境会議のサポーター制度について 【資料 8】 第 5 期東久留米市市民環境会議提言書（案） 【資料 9】 第 5 期東久留米市市民環境会議報告書（案）	
議事内容 I. 報告事項 （→は、意見、質問等） 1. 第 7 回東久留米市市民環境会議会議録の確認（資料 1） ・湧水マップの部数を修正し、了承された。 2. 環境政策課からの報告 ・第 6 期委員の募集を 6 月 1 日～2 9 日で行い、7 名の応募であった。市民環境会議委員による募集支援を受けての結果であり、今後委員の増員はあまり期待できない。再募集は次期の会議で会議体のあり方の見直しも含めて検討したうえでやっていく。 3. 環境フェスティバル実行委員会報告（資料 2） ・資料 2 に基づき来場者数、来場者の特性、来場者からの感想等の報告を行った。 ・実行委員会においては、高校生ボランティアの対応が良く、若年者の実行委員会への参加を呼び掛けたいといった意見や、有料化に伴うごみ処理の問題へ関心が多かった等の意見がだされた。 ・参加人数そのものは昨年に比べ減少したが、参加者の反応は良かった印象がある。	

- ・アンケートの「日ごろ気になる環境問題」の設問は環境審議会会長と見直したもの。数年程度継続して行い結果を見たい。

→各アンケート項目ごとの母数が明記されるとなお良い。

4. 各部会報告、広報担当者会議報告

(1) 水とみどり部会報告

- ・前回全体会以降3回の会議を開催し、環境フェスティバル準備、報告書内容検討を行った。
- ・黒目川、落合川の環境基準の水域類型の指定及び指定の見直しに伴う大腸菌群数の扱いのことが話し合われた。
- ・環境フェスティバルにおいて、環境基準についての展示、名木百選のパネル展示・認定式・名木巡りツアーを実施した。

(2) くらし部会報告

- ・環境フェスティバルにおいて、家庭排水のゆくえ、グリーンカーテンコンテストの募集、ゴーヤの苗配布等を行った。
- ・グリーンカーテンコンテストの募集は8月1日～9月29日で行っている。

→次期くらし部会委員がいない場合には、グリーンカーテンコンテストはどのように開催するのか？

→環境政策課で引き継いでいく。

(3) 環境学習部会報告

- ・「みのり塾」として、5月29日にそら豆に関すること、7月9日にトウモロコシ・枝豆に関するイベントを実施した。
- ・環境フェスティバルにおいて、「みのり塾」等の紹介展示と湧水を湧くワク散歩を実施した。
- ・7月30日に東部図書館事業の黒目川リバーウォッチングに協力する。

(4) 広報担当者会議報告（資料5）

- ・第6期委員の募集支援としてチラシ500部を印刷し、環境フェスティバル等で380部配布した。
- ・公共施設へのチラシ配布はほとんどが残ってしまう。
- ・今後は会議への参加メリットを明らかにして募集を行いたい。
- ・現委員には、残ったチラシの一部を資料として持ち帰ってもらった。

→資料5に参加のメリットが記載されているが、他の委員で他に思うところは如何か？

→行政をバックに活動できるメリットが考えられる。

II. 議題

1. 広報関係 ロゴについて（資料6）

- ・前回全体会后、委員から好評であった2案を中心に資料6のとおり3案として、環境フェスティバルでシール投票を行った。A案は前回会議での指摘を受けて川を表現するよう見直しを行っている。
- ・投票の結果はA案 238 票、B案 217 票であった。両案の差は有意なものとみなされ、それを覆す理由は見当たらないことから、事務局会でA案で全体会に諮ることとした。
- ・デザイナーは資料6のとおり練馬区での環境活動を行っている人である。

→B案が良いという意見もあったが、A案を否定する理由がなくなった。

→使い方によっては、デザインがぼやける。枠などをつけるべき。

→デザイナーからは幅広い使い方について提案があり、運用方法で対応できる。

→市民環境会議の選定はA案として決定し、今後市としての決定の手続きを続けるものとした。

2. 会議体の充実に向けて

(1) サポーター制度について（資料7）

- ・要領によるサポーター制度が現状と異なることから、あるべき姿を資料7にまとめた。
- ・要領に定める「サポーター委員」と現状にあった「サポーター」をわけて運用する。
- ・「サポーター」は保険に入る必要があることから部会で登録を行う。

→「サポーター委員」を残す理由は？「サポーター」が混在し、組織が複雑となる。

→要領を変えない前提としている。

→ボランティア保険への加入が区分の項目となっているが、既に他で加入している人もいるので、二次的な要因の筈。

→その通りである。

→市民環境会議からの提案として今期報告書の中に納めることとする。

（２）会議体の今後の姿

- ・今期会議で検討してきたが、有効な方向性が見いだすには至らなかった。検討にあたって調査した他市の状況等の対比表は活動報告書・Ⅷ資料に収めることとする。

３．第５期活動報告書について

（１）提言書について（資料８）

- ・第５期市民環境会議から市長への提言として作成したもの。

→提言書として了承された。

（２）報告書について（資料９）

- ・第５期市民環境会議の活動をまとめたもの。
- ・提案は次期市民環境会議に向けて行われている。
- ・今期は前回にない、広報担当者会議の活動、５期１０年のまとめ、他市の環境に関する会議の状況も加えている。

→項目のフォントを目立たせるようにする。

→資料編の項番を振る。

→その他、行ずれ、文字切れ、誤字修正などを行い、完成とする。

以 上